

令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事

設 計 図 面

令和8年7月

津 和 野 町 建 設 課

図面目次

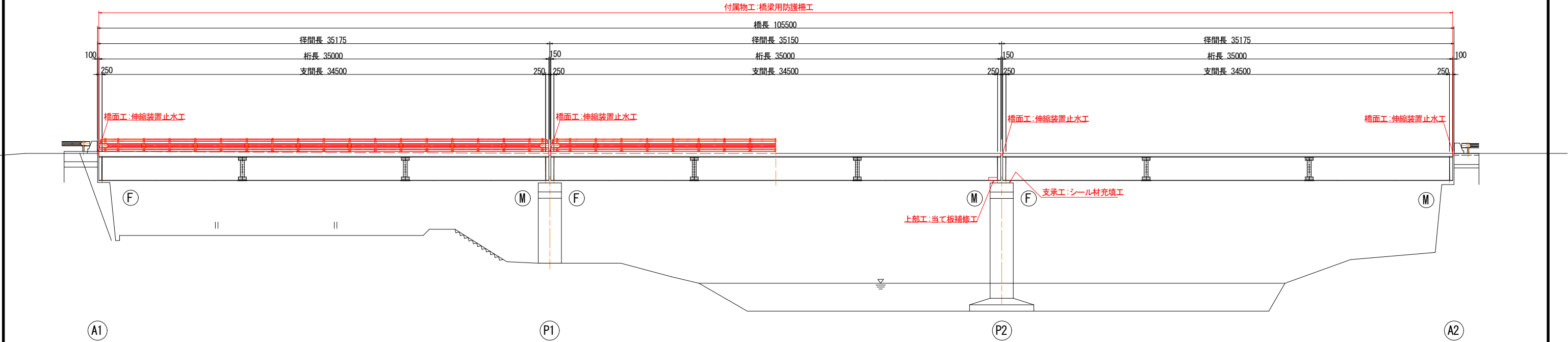
(図面数: 12枚)

令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事

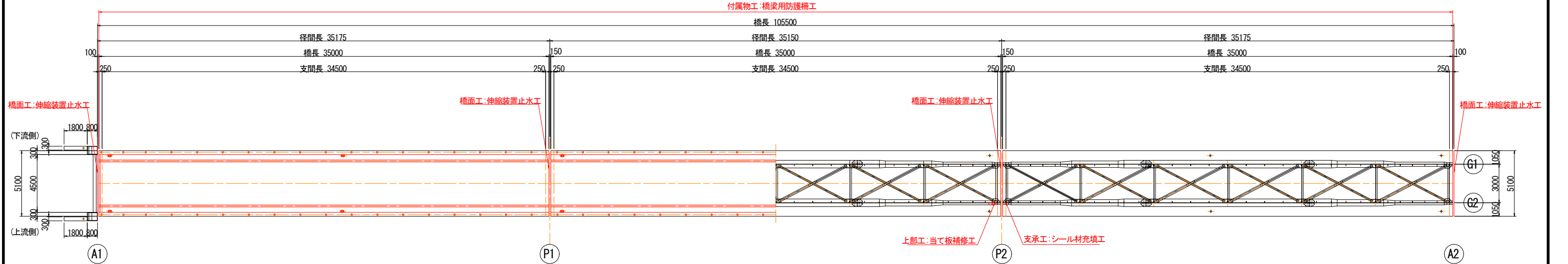
ファイル名	図面名(補足等)	備 考
01_脇本大橋 補修計画一般図		
02_脇本大橋 当て板補修図		
03_脇本大橋 シール材充填工補修図		
04_脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図001		
05_脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図002		
06_脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図003		
07_脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図004.		
08_脇本大橋 防護柵詳細図		
09_脇本大橋 補修詳細図(参考図)001		参考図
10_脇本大橋 補修詳細図(参考図)002		参考図
11_脇本大橋 仮設図(参考図)001		参考図
12_脇本大橋 仮設図(参考図)002		参考図

脇本大橋 補修計画一般図

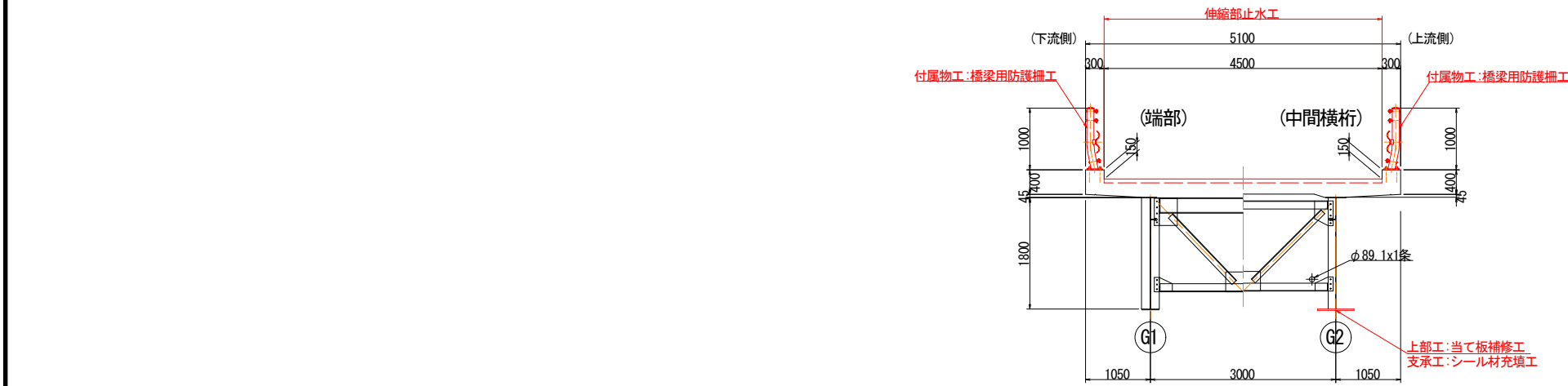
側面図 S=1:150 (A1)
S=1:300 (A3)



平面図 S=1:150 (A1)
S=1:300 (A3)



断面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



対策工法一覧表

伸縮装置止水工
シーリング材充填工
当て板補修工
橋梁用防護柵工
仮設足場工
橋脚回り足場

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

年 度	令和 8 年度
番 号	災 号
工 事 名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市津和野 町河村 地内
図面名称	脇本大橋 補修計画一般図
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
項目	測量
調査	
設計	
12 葉の内 1	

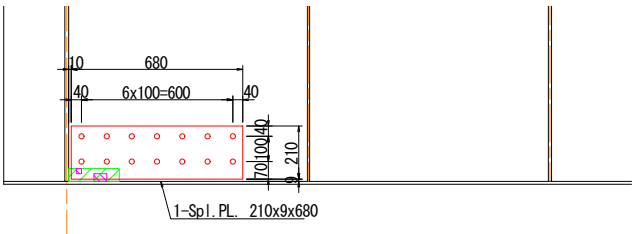
脇本大橋 当て板補修図

S=1:15 (A1)
S=1:30 (A3)

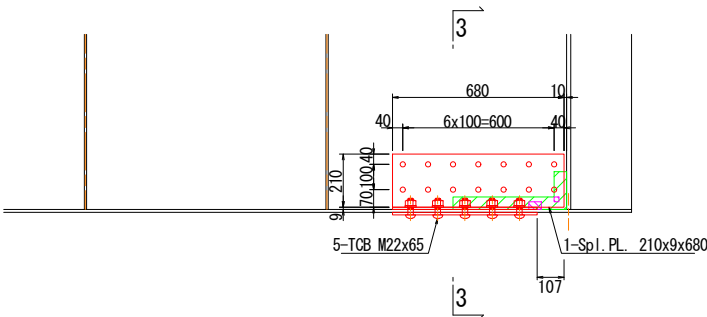
素地調整, 接触面塗装, 小規模塗装工, シール材充填

A部詳細図

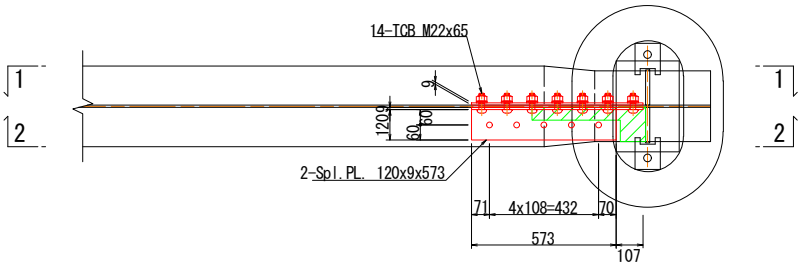
側面図
1-1



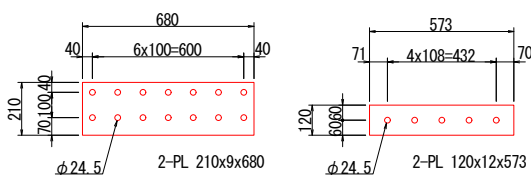
2-2



平面図 (下フランジ)

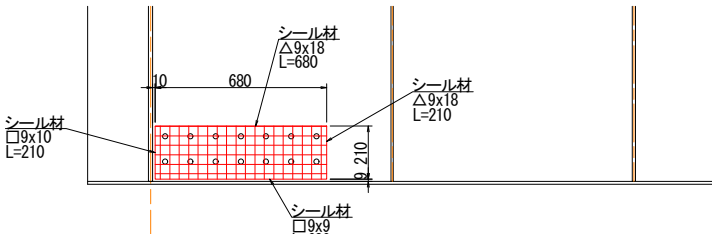


鋼材詳細図

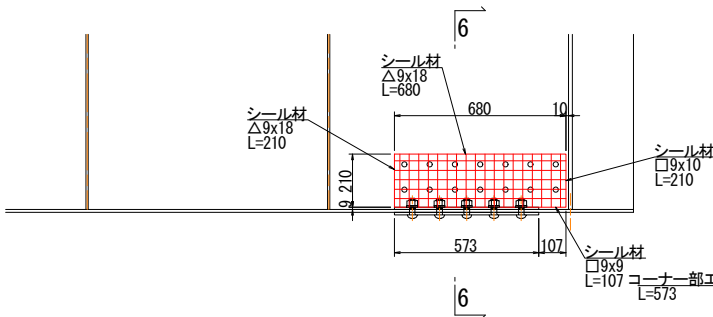


A部詳細図

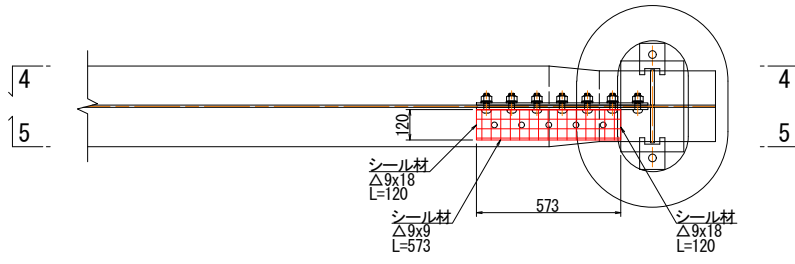
側面図
4-4



5-5



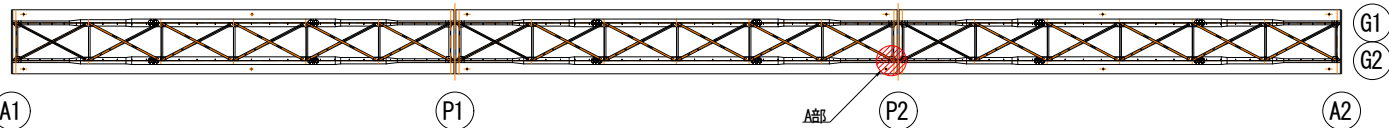
平面図 (下フランジ)



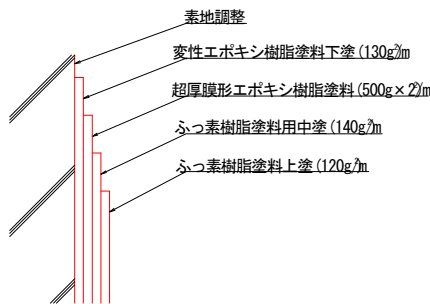
(第2径間G2主桁)

使用箇所	材料形状	2辺の寸法 (mm)	他の1辺の寸法 (mm)	個数	単位質量 (kg/m)	1個当たり質量 (kg)	質量 (kg)	材質	NET (%)	摘要
SPL	PL	210 x 9	680	2	14.837	10.089	20	SM490	100	A部
SPL	PL	120 x 9	573	2	8.478	4.858	10	SM490	100	A部
板材質量 計							30 kg			
使用箇所	種別	規格	長さ (mm)	個数	単位質量 (kg/m)	1個当たり質量 (kg)	質量 (kg)	材質	NET (%)	摘要
SPL	TCB	M22	65	19		0.508	10	S10T		
ボルト質量 計							10 kg			
1主桁当たり							40 kg			

位置図 S=1:300 (A1)
S=1:600 (A3)



小規模塗装工 (当て板補修部)
(参考図)



当て板補修部塗装仕様 F-11 (一般部塗装 C-5)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m²)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製作工場	素地調整	ブラスト処理 (ISO Sa2 1/2)		4時間以内
	防食下地	無機ジंकリッチペイント	600	75
現場	素地調整	動力工具処理 (ISO St3)		1年以内
	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	130	-
	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	500x2	300
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	120	25

※ 使用量は、はけ・ローラー塗りの場合を示す。

凡例

当て板補修工	
腐食範囲	
板厚減少箇所	
素地調整, 小規模塗装工	
接触面塗装	

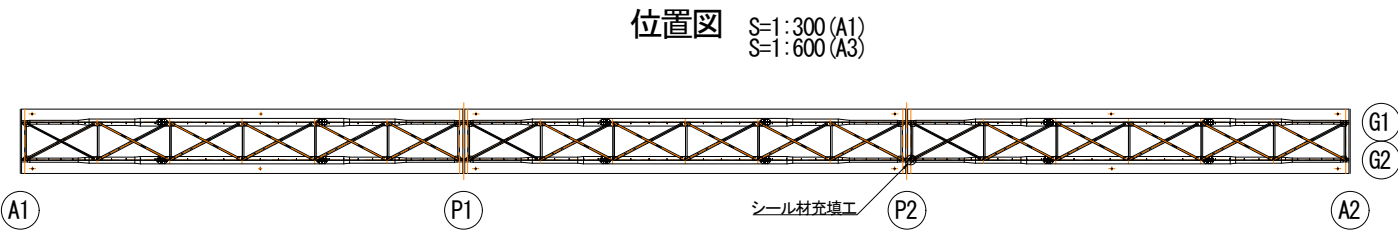
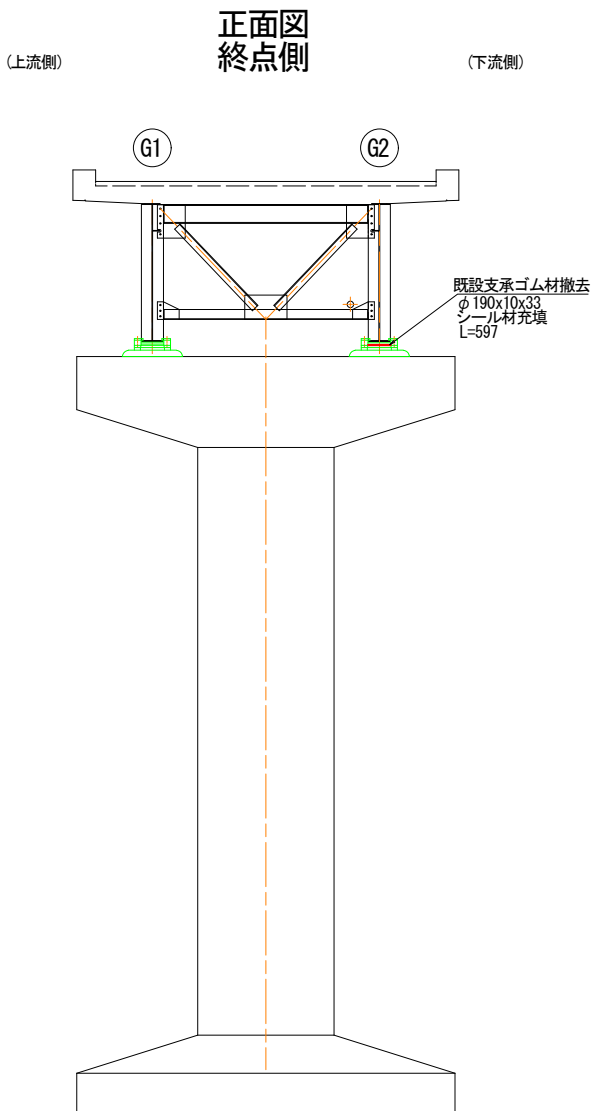
※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 既設鋼材と当て板補修材の隙間に不陸が生じる場合は、金属パテやエポキシ樹脂系パテ等により不陸調整を行うこと。
※ 高力ボルトの現場孔明けは、M22用φ24.5を標準とする。
※ 添接材に使用する鋼板は、市場性を考慮して9mmとした。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市津和野 町 河村 地内
図面名称	脇本大橋 当て板補修図
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
項目	測量調査
設計	
12 葉の内 2	

脇本大橋 シール材充填工補修図

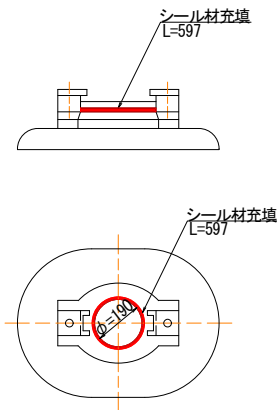
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)

P2橋脚



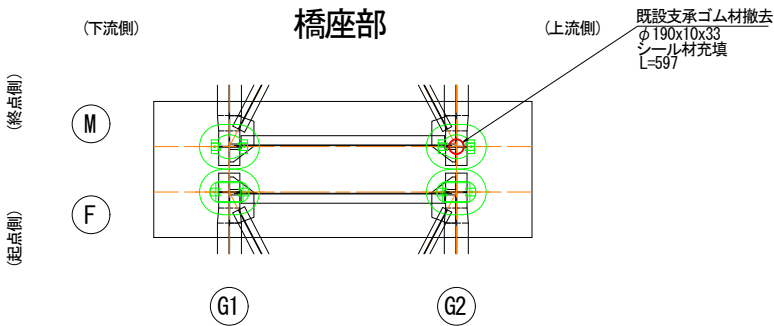
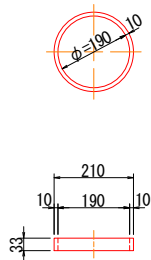
シール材充填工詳細図
支承 (P2上終点側G2桁)

S=1:15 (A1)
S=1:30 (A3)



既設支承ゴム材撤去詳細図
クロロプレンゴム

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ シール材充填部の下地処理を確実にこなうこと。

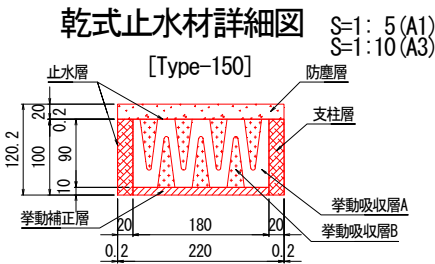
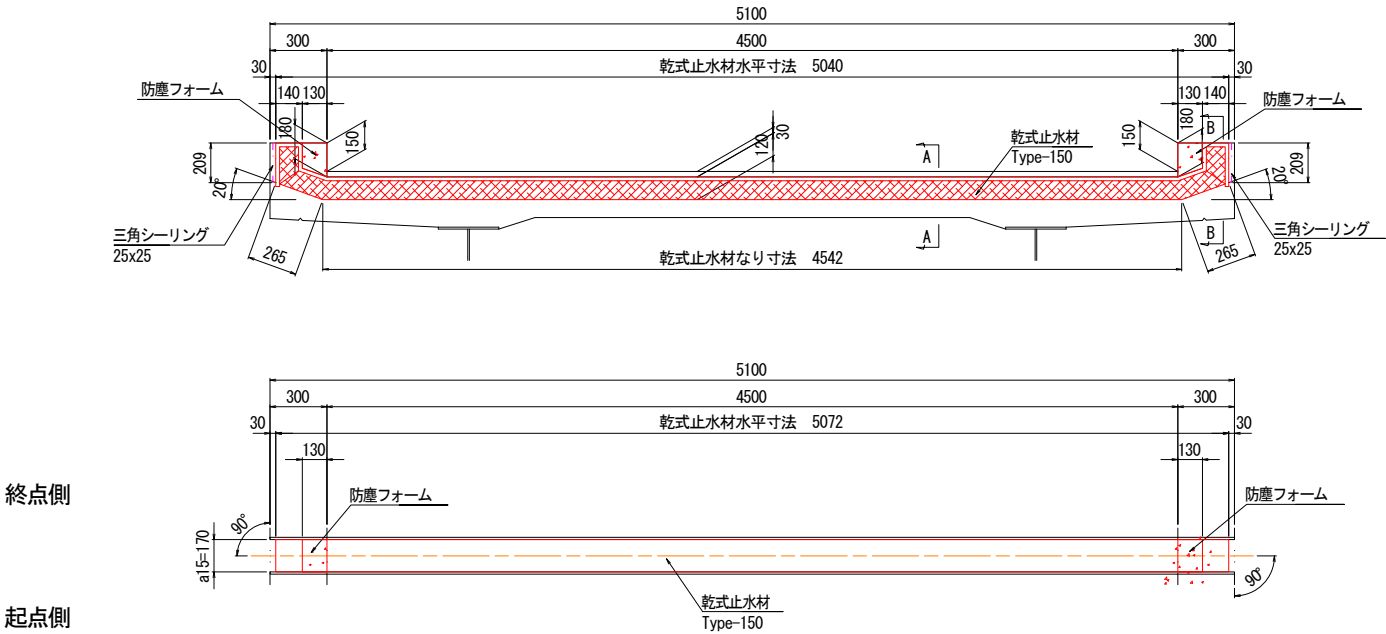
年 度	令和 8 年度
番 号	災 号
工 事 名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市 津和野 町 河村 地内
図面名称	脇本大橋 シール材充填工補修図 縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
項目	測 量
調 査	
設 計	
12 葉の内 3	

脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図（その2）
P1橋脚

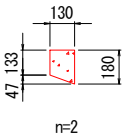
S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

標準ウエブ遊間	+15℃時	170mm
最大ウエブ遊間	-10℃時	186mm
最小ウエブ遊間	+40℃時	155mm

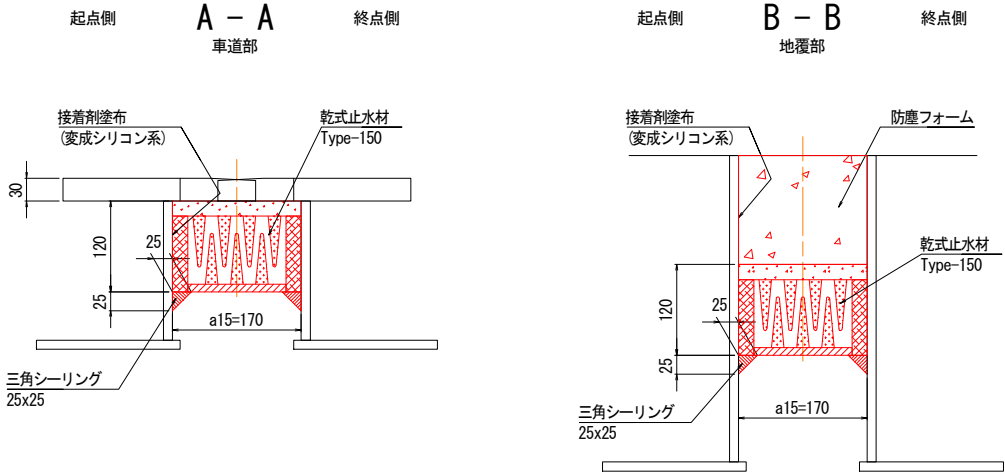
1-乾式止水材 Type-150× 5072
2-乾式止水材 Type-150× 209
2-防塵フォーム 196×180×130



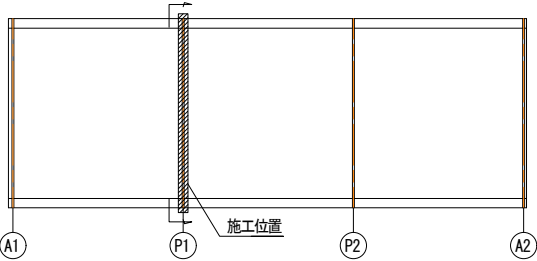
防塵フォーム詳細図
(ポリエチレンフォーム)
[製作幅=最大遊間+10=196]



断面図 S=1:5 (A1)
S=1:10 (A3)



配置図



※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実にこなうこと。
※ 接着剤 (t-3) に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー (0.1kg/m2) を塗布すること。

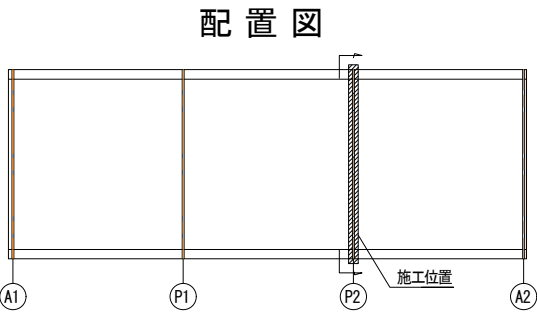
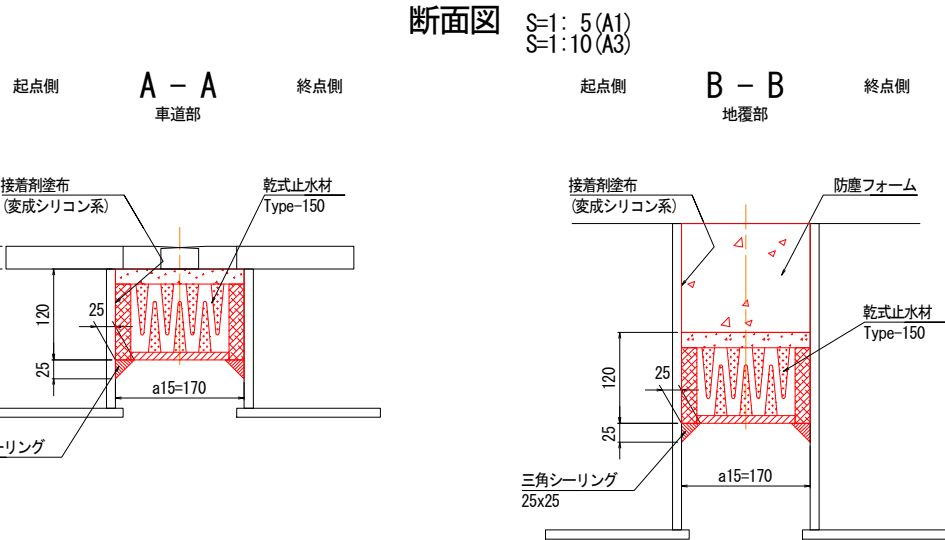
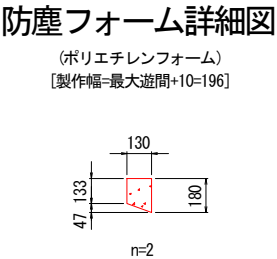
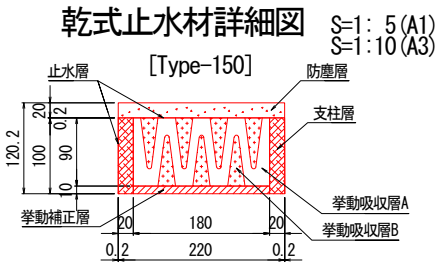
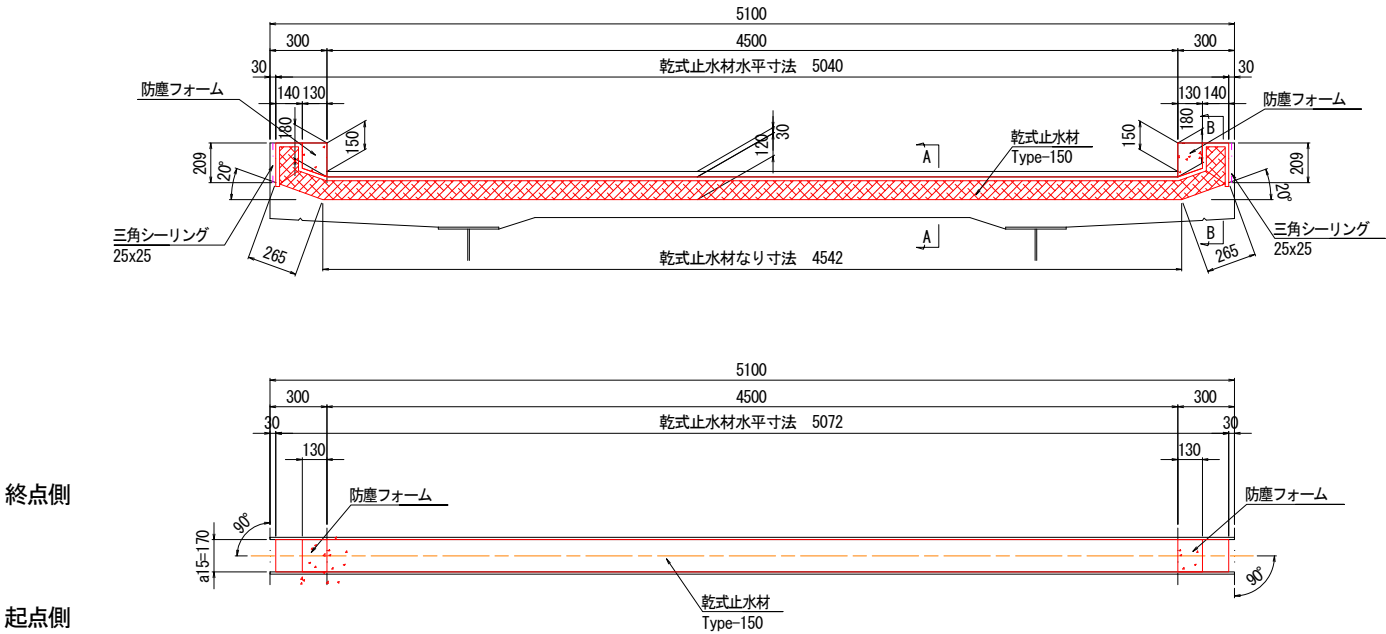
年度	令和 7 年度
番号	災 号
工事名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市 津和野 町 河村 地内
図面名称	脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図 (その2) 縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
項目	測量
調査	
設計	

脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図（その3）
P2橋脚

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

標準ウエブ遊間	+15℃時	170mm
最大ウエブ遊間	-10℃時	186mm
最小ウエブ遊間	+40℃時	155mm

1-乾式止水材 Type-150× 5072
2-乾式止水材 Type-150× 209
2-防塵フォーム 196×180×130



※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実にこなうこと。
※ 接着剤 (t-3) に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー (0.1kg/m2) を塗布すること。

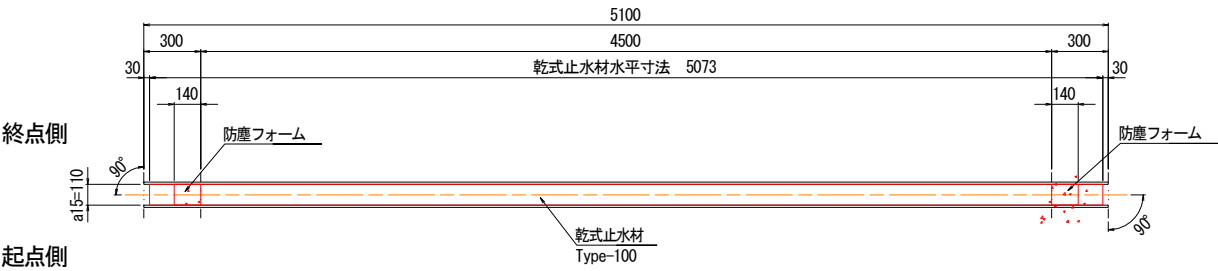
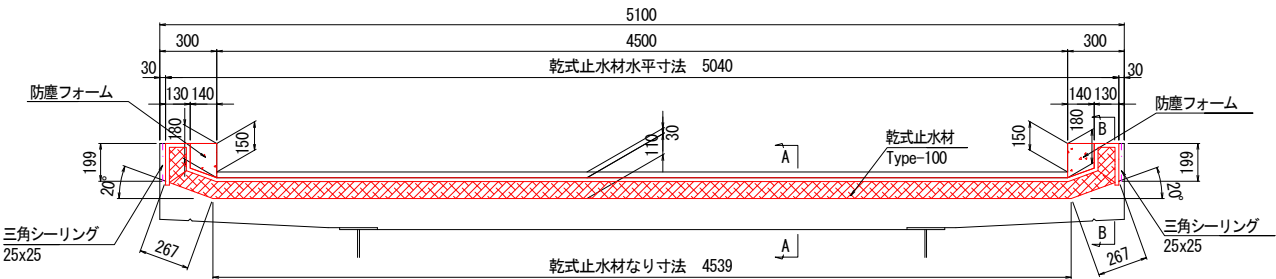
年度	令和 8 年度
番号	災 号
工事名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市 津和野 町 河村 地内
図面名称	脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図 (その3)
縮尺	図示
項目	会社名
測量	会社及び責任者
調査	
設計	
12 葉の内 6	

脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図（その4）
A2橋台

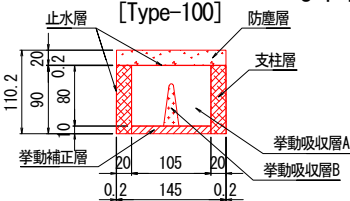
S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

標準ウエブ遊間	+15℃時	110mm
最大ウエブ遊間	-10℃時	125mm
最小ウエブ遊間	+40℃時	95mm

1-乾式止水材 Type-100× 5073
2-乾式止水材 Type-100× 199
2-防塵フォーム 135×180×140

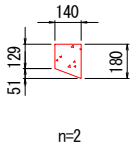


乾式止水材詳細図 S=1: 5 (A1)
S=1:10 (A3)

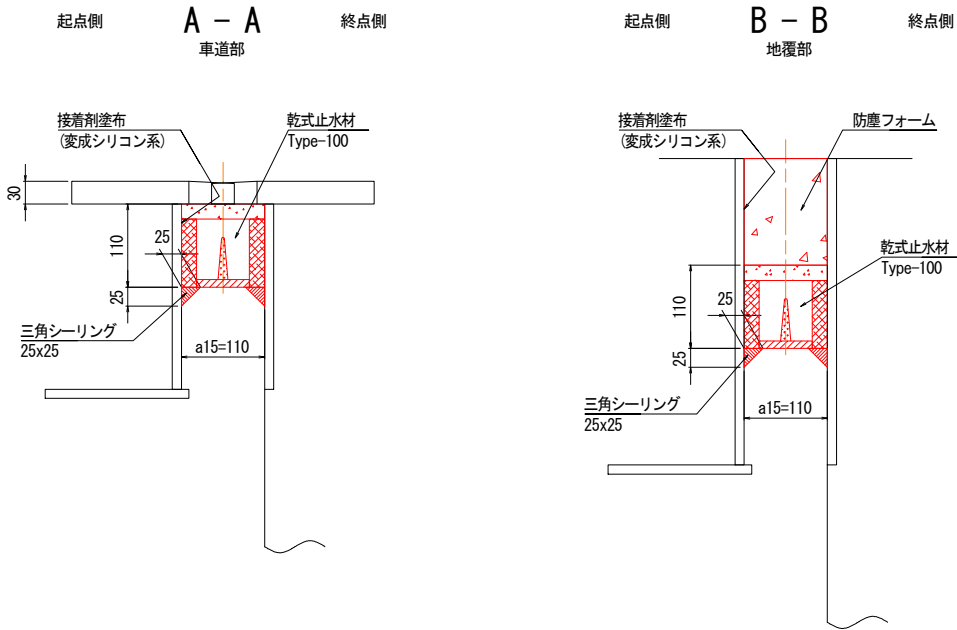


防塵フォーム詳細図

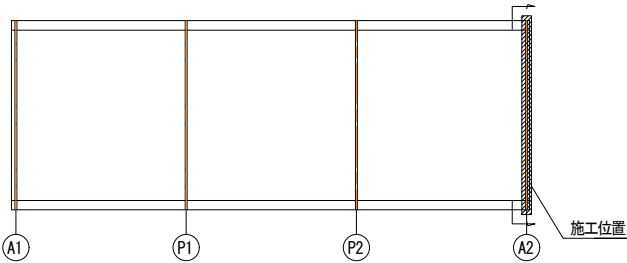
(ポリエチレンフォーム)
[製作幅=最大遊間+10=135]



断面図 S=1: 5 (A1)
S=1:10 (A3)



配置図

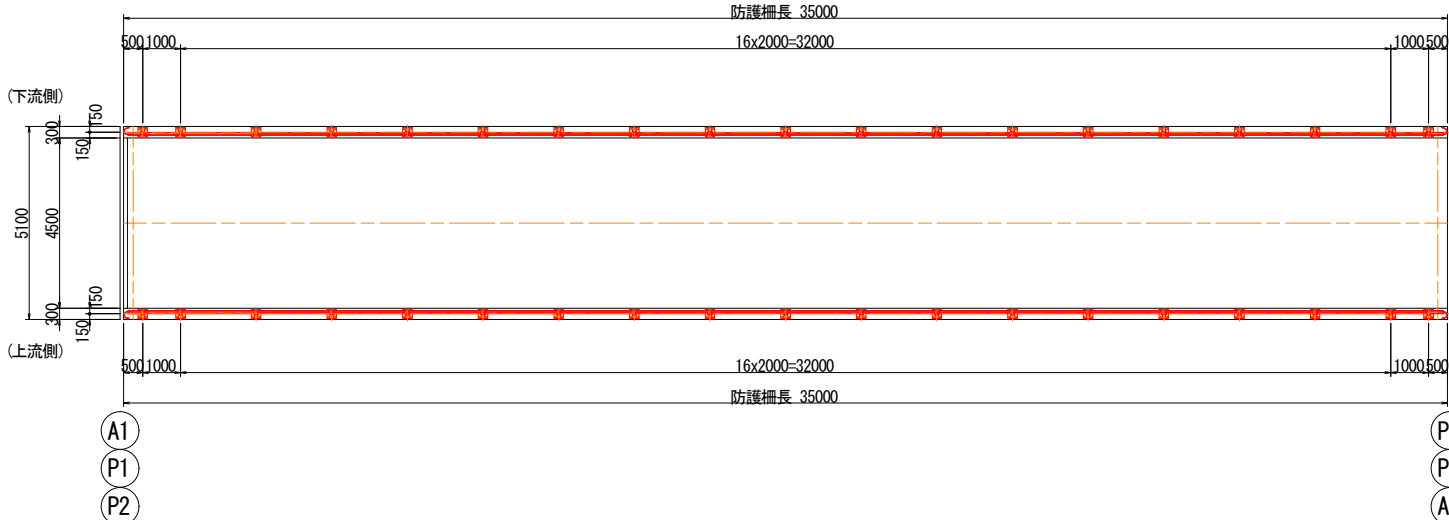


※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実にこなうこと。
※ 接着剤 (t=3) に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー (0.1kg/m2) を塗布すること。

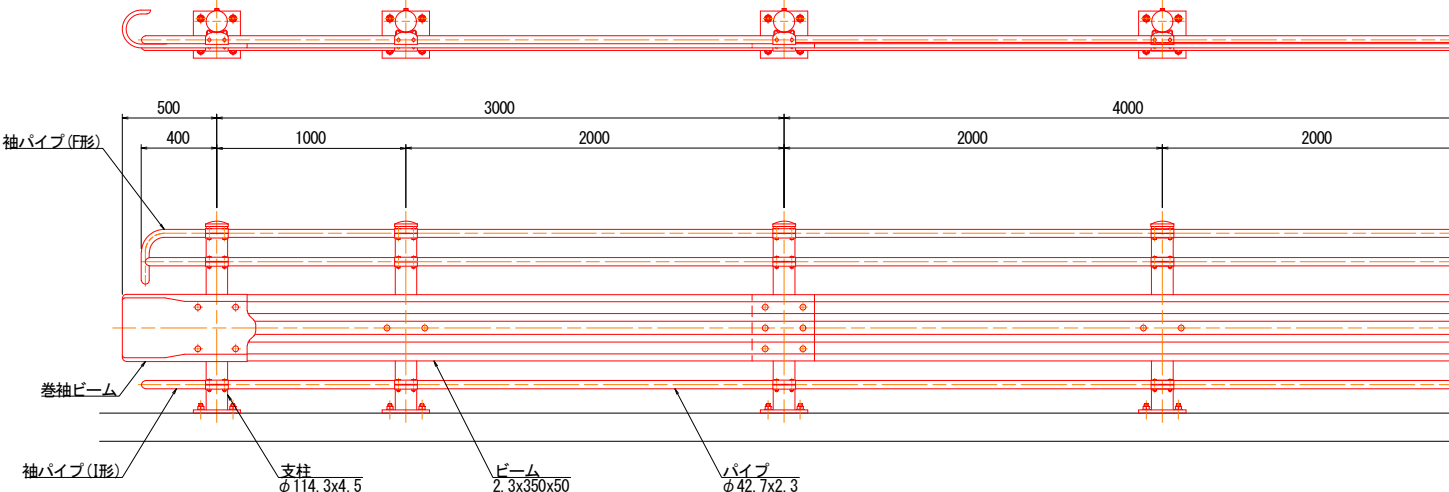
年 度	令和 8 年度
番 号	災 号
工 事 名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市 津和野 町 河村 地内
図面名称	脇本大橋 伸縮装置止水工詳細図 (その4)
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
項目	測 量
調 査	
設 計	
12 葉の内 7	

脇本大橋 防護柵詳細図

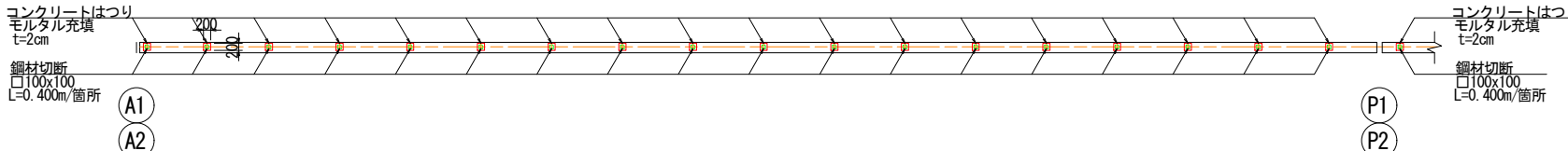
平面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



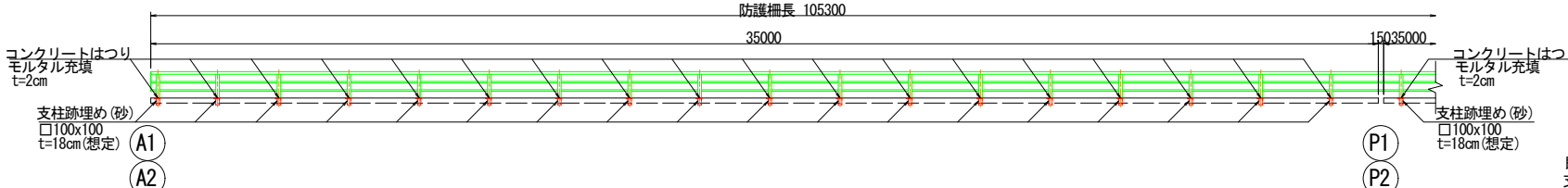
組立図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



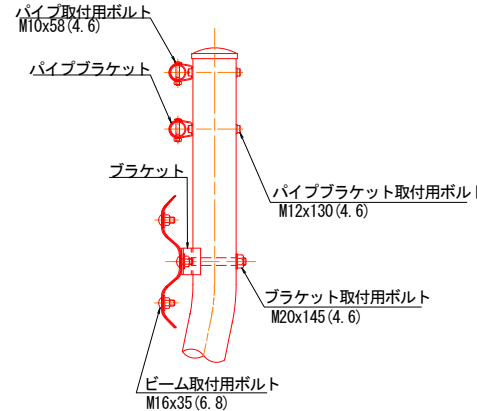
防護柵撤去平面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



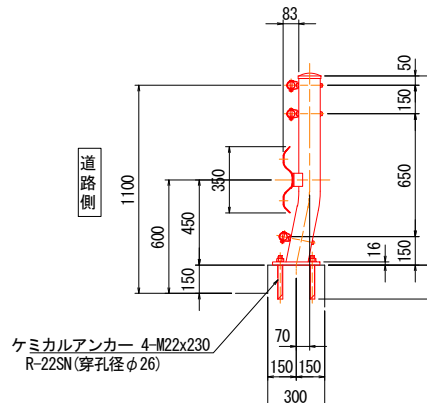
防護柵撤去側面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



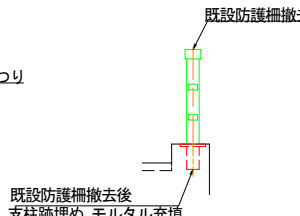
取付詳細図 S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



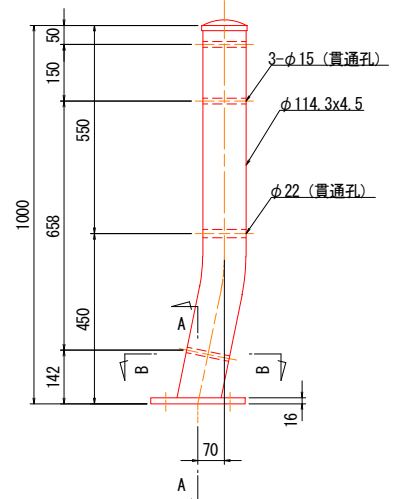
断面図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



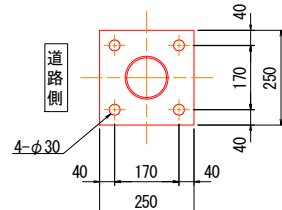
防護柵撤去断面図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



支柱 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



B-B断面图



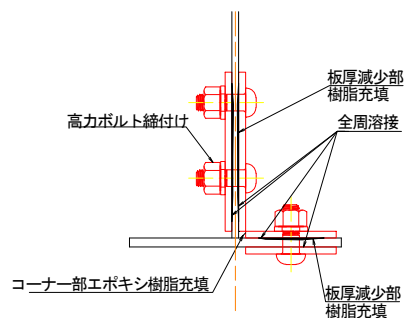
- ※ 本図面は、竣工図面及び現地簡易計測結果に基づき作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ コンクリート削孔を行う際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。

年 度	令和 8 年度
番 号	災 号
工 事 名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
川口港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 ^(市) 津和野 ^(町) 河村 地内
図面名称	脇本大橋 防護柵詳細図 縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測 量 者	
設 計	

12 葉の内 8

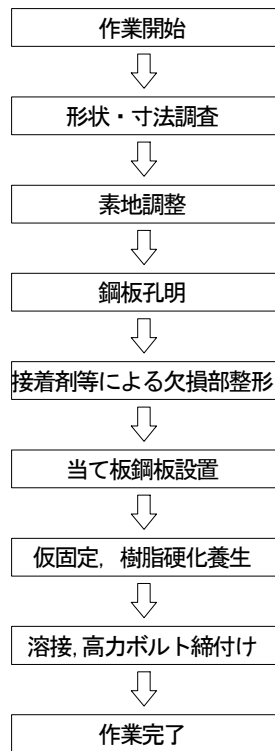
脇本大橋 補修詳細図(参考図)(その1)

当て板補修工

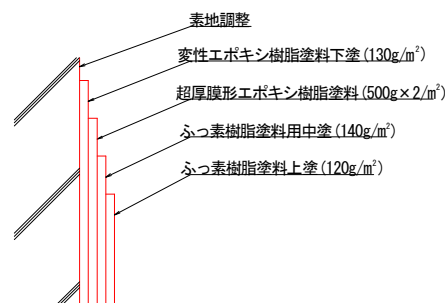


- ※ 既設鋼材と当て板補強材の隙間に不陸が生じる場合は、金属パテやエポキシ樹脂等により不陸調整を行うこと。
- ※ 当て板仮固定は、予備のボルト等で24時間以上仮固定し、接着剤等でボルト孔が閉塞されないようにすること。
- ※ 高力ボルトの現場孔明けは、M22用φ24.5を標準とする。
- ※ 添接材に使用する鋼板は、市場性を考慮して9mmとした。

施工手順



小規模塗装工(当て板補修部)

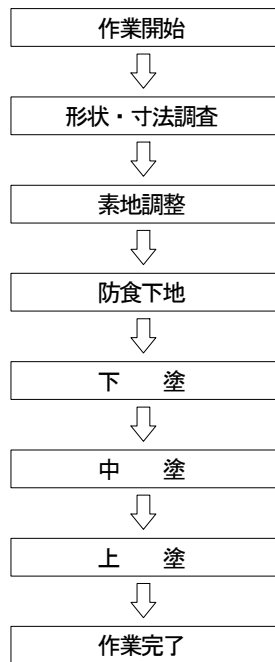


当て板補修部塗装仕様 F-11(一般部塗装 C-5)

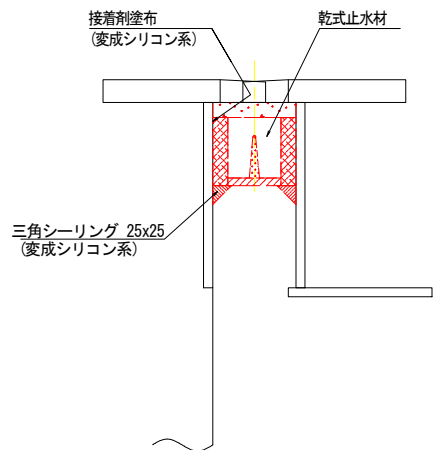
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製作工場	素地調整	ブラスト処理(ISO Sa2 1/2)		4時間以内
	防食下地	無機ジंकリッチペイント	600	75
現場	素地調整	動力工具処理(ISO St3)		1年以内
	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	130	-
	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	500x2	300
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	120	25

※ 使用量は、はけ・ローラー塗りの場合を示す。

施工手順

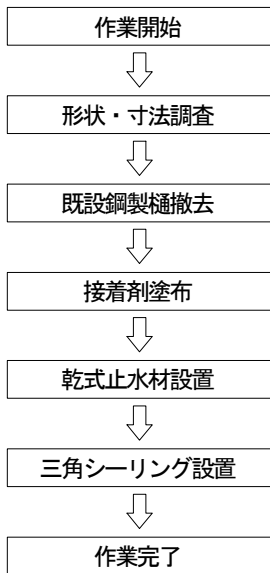


伸縮装置止水工

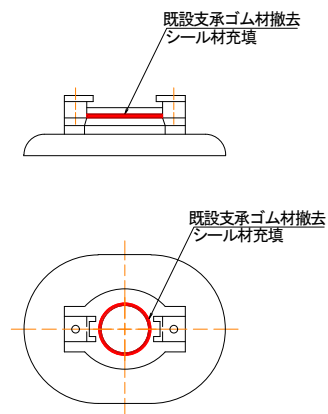


- ※ 伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実にこなうこと。
- ※ 接着剤(t-3)に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m²)を塗布すること。

施工手順

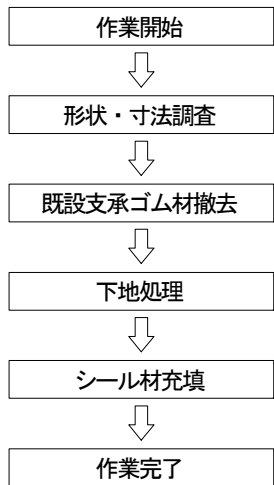


シーリング材充填工



※ シーリング材充填部の下地処理を確実にこなうこと。

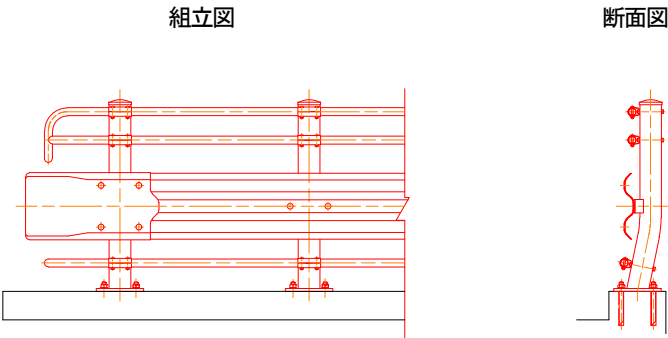
施工手順



年 度	令和 8 年度
番 号	災 号
工 事 名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市 津和野 町 河村 地内
図面名称	脇本大橋 補修詳細図(参考図)(その1) 縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
項目	測 量
調 査	
設 計	
12 葉の内 9	

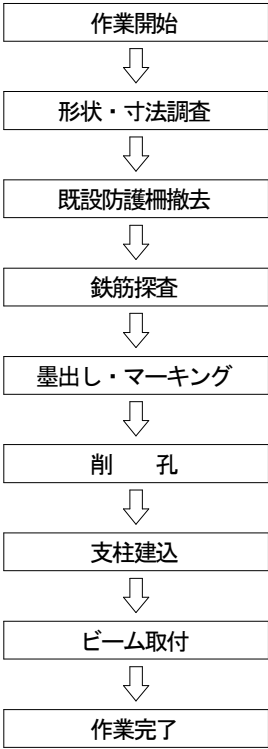
脇本大橋 補修詳細図（参考図）（その2）

橋梁用防護柵工



※ コンクリート削孔を行う際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。

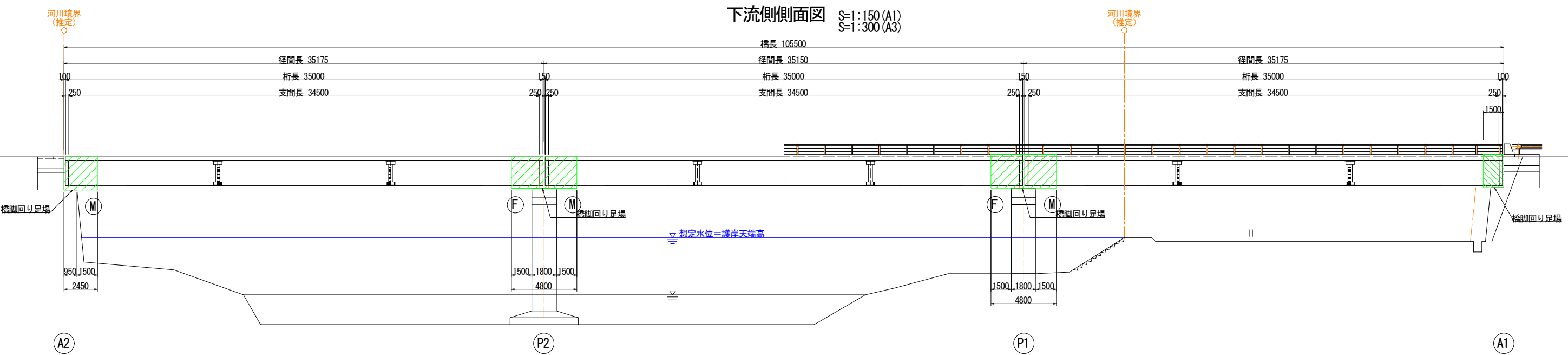
施工手順



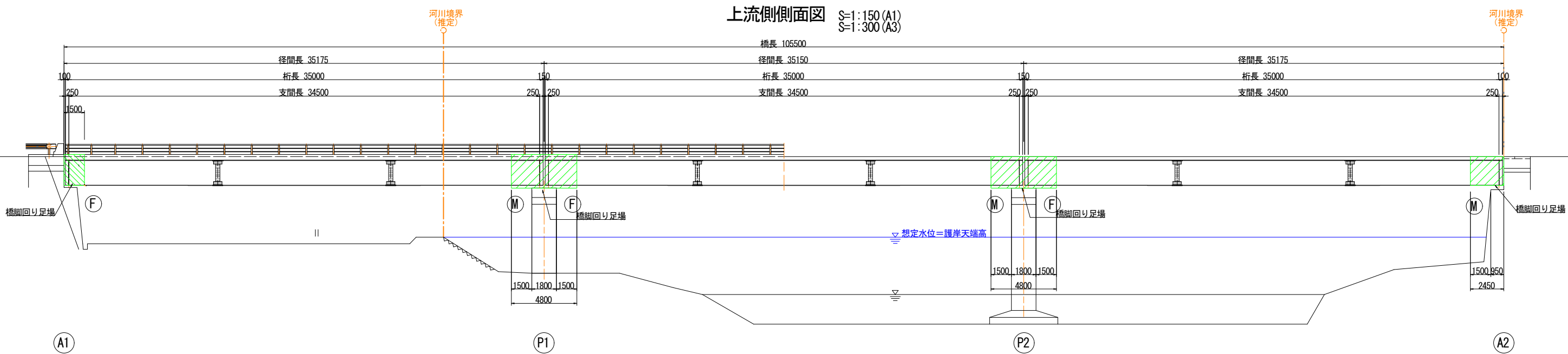
年 度	令和 8 年度
番 号	災 号
工 事 名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市津和野村 河村 地内
図面名称	脇本大橋 補修詳細図（参考図）（その2） 縮尺 図示
会社名 項目 測 量 設 計	会社及び責任者
12 葉の内 10	

脇本大橋 仮設図（参考図）（その1）
仮設足場工

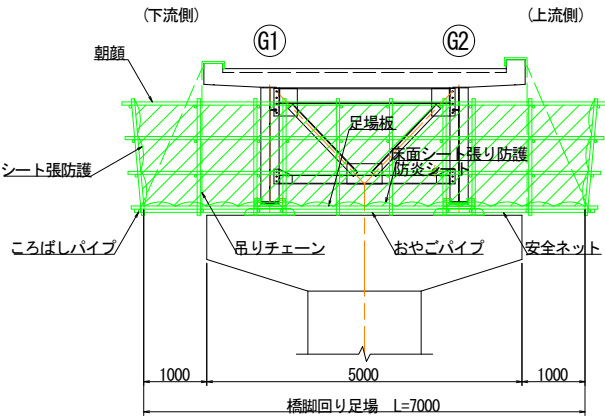
下流側側面図 S=1:150 (A1)
S=1:300 (A3)



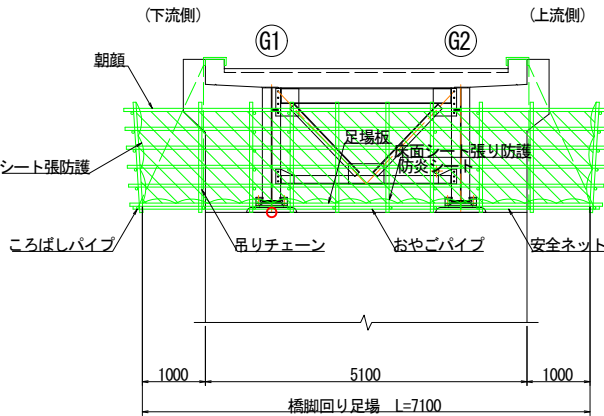
上流側側面図 S=1:150 (A1)
S=1:300 (A3)



P1橋脚 (P2橋脚) S=1:60 (A1)
S=1:120 (A3)



A2橋台



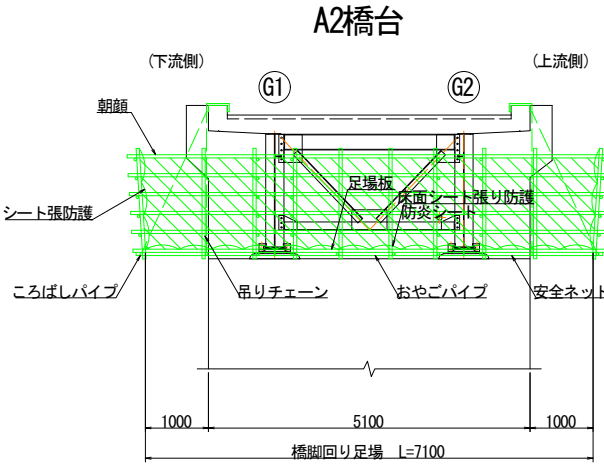
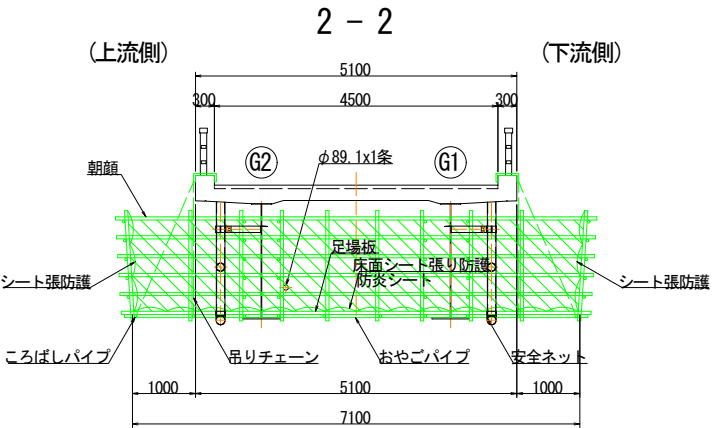
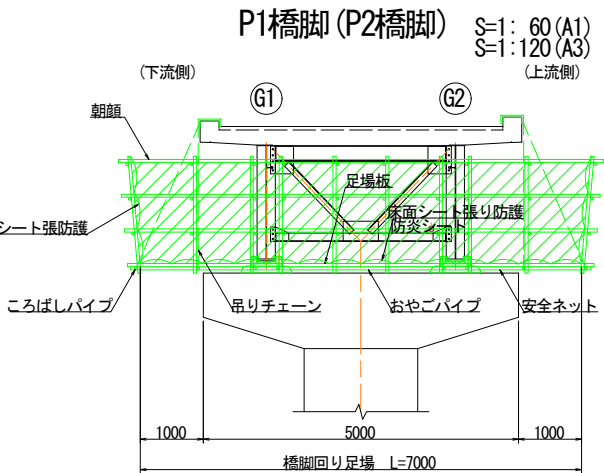
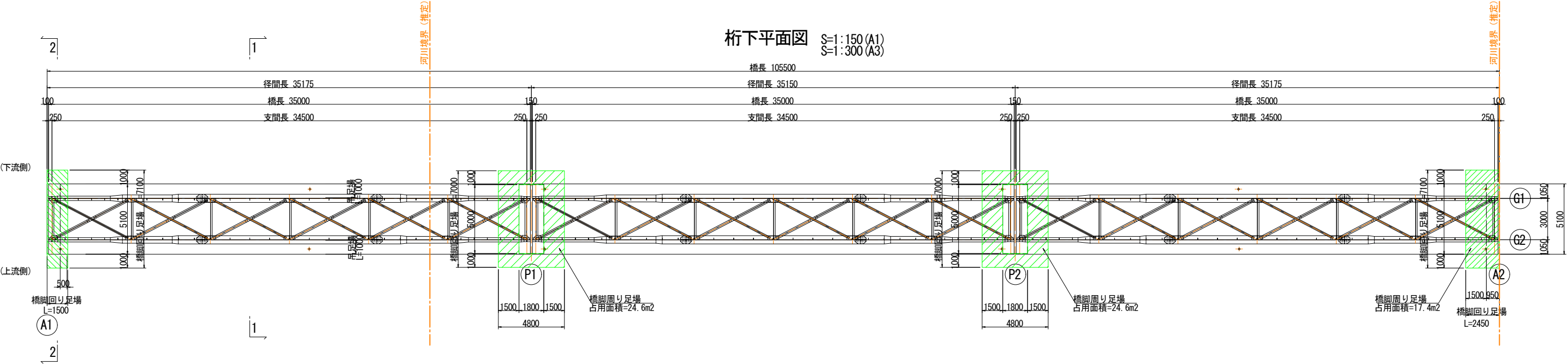
凡 例

橋脚回り足場 (タイプF)
床面にシート張防護を追加 (タイプF)
手摺を朝顔に変更 (タイプF)
朝顔にシート張防護を追加 (タイプF)

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

年 度	令和 8 年度
番 号	災 号
工 事 名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市 津和野 町 河村 地内
図面名称	脇本大橋 仮設図 (参考図) (その1)
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
項目	測 量
測 査	
設 計	
12 葉の内 11	

脇本大橋 仮設図（参考図）（その2）
仮設足場工



凡 例

	橋脚回り足場(タイプF) 床面にシート張防護を追加(タイプF) 手摺を朝顔に変更(タイプF) 朝顔にシート張防護を追加(タイプF)

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

年 度	令和 8 年度
番 号	災 号
工 事 名	令和8年度 町道脇本大橋線脇本大橋修繕工事
道川港名	町道脇本大橋線
施工箇所	鹿足 市 津和野 町 河村 地内
図面名称	脇本大橋 仮設図(参考図)(その2) 縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
項目	測 量
調 査	
設 計	
12 葉の内 12	